

は じ め に

本号において世に出る論考はいずれも宮城学院女子大学キリスト教文化研究所における共同研究テーマの一つである「多民族社会における宗教と文化」での大きな成果である。

この研究の目的は、日本の国内外を見渡した多民族社会における多様な動態をミクロとマクロの両面から実態的に観察するとともに、かつボーダーレスに変化する複雑な世界の諸状況をジェンダー、グローバリズム、暴力、圧制、貧困、宗教的動向、災害などを視野に入れて総合的に分析し、網羅的に国際的な文化社会の動向への理解に資する言説の構築と実践方法を追求することである。

多民族社会とは、本質的に多様性が相互的にその価値を認めあう社会である。多様性は人々の自発的・主体的な対話と論議の場の継続的な創出があってこそ、社会不安の原因に真正面から向き合うことができる。本研究はこの可能性を見逃すことなく、社会における共生のための多様性を肯定する立場から、多様な学術の専門家との交流による斬新な学術領域の創出の試みを長年の中心的課題としている。

3つの論考とも上述した中心的課題に向き合った力作であり、このような研究の継続こそが、宮城学院女子大学キリスト教文化研究所において意義深いことであることを強調したい。そして、この学問的営為の継続と発展こそが不安定で不透明な未来へのささやかな希望につながると強く確信している。

最後に2024年度に共同研究「多民族社会における宗教と文化」主催において開催された共同研究会を紹介する。

〈共同研究「多民族社会における宗教と文化」主催〉

第1回グリーンフケア公開講演会「命の大切さを学ぶ教室」 後援 宮城県警察

2024年7月11日（金）16時20分～17時50分（本学講義館二階 C201教室）

企画・司会 松本周（本学一般教育部准教授）、浅野晴哉（本学学芸学部准教授）

最愛の娘を失って 犯罪被害者遺族の思いと願い

講師 八島定敏氏（犯罪被害者遺族 宮城県警察「命の大切さを学ぶ教室」講師）

第2回グリーンフケア公開講演会

2024年11月29日（金）16時30分～17時50分（本学講義館3階 C308教室）

企画・司会 松本周（本学一般教育部准教授）

若年女性における命の課題 乳腺外科専門医の臨床と人生経験から

講師：尹玲花（インレイカ）氏（mammaria tsukiji 院長）

第3回公開講演会

2024年12月19日（木）16時30分～17時50分（本学講義館2階 C201教室）

企画・司会 永田貴聖（本学現代ビジネス学部教授）

『フィリピンパブ嬢の社会学』から舞台『マハルコ組曲』まで

講師 中 島 弘 象氏

プロフィール：1989年、愛知県春日井市生まれ。中部大学大学院修了（国際関係学専攻）。会社員として勤務する傍ら、フィリピンパブを中心に取材や執筆活動を行う。著書に『フィリピンパブ嬢の社会学』（新潮新書）がある。

第4回グリーンフケア公開研究会

2025年1月10日（金）16時30分～18時（本学第2講義館 K203教室）

企画 松本周（本学一般教育部准教授）

司会 清水禎文（本学教育学科教授）

「植村環の悲嘆と信仰 愛する者との死別を通して」

発表 松本のぞみ氏（東北学院大学他非常勤講師）

第5回グリーンフケア公開研究会

2025年3月11日（火）10時30分～12時（本学第2講義館 K209教室）

企画・司会 松本周（本学一般教育部准教授）

「宮城学院で経験した3・11」

発表 戸野塚厚子（本学教育学部教授）

市野澤潤平（本学現代ビジネス学部教授）

共同研究代表 永田貴聖（現代ビジネス学部 現代ビジネス学科 教授）